

令和7年度補正予算「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金」  
「工場・事業場型」における『先進設備・システム』公開用概要書

製造会社情報（コンソーシアムの場合は、幹事社）

設備/システム名	バイオディーゼル燃料焚ボイラ
製品種別	エネルギー負荷設備(本体設備)
型番	K-2000BDE
会社名	株式会社IHI汎用ボイラ
本社所在地	東京都中央区晴海三丁目12番1号
会社WEBページURL	http://www.ibk-ihl.co.jp/
製品紹介ページURL	—

製品についてのお問い合わせ先

連絡先	株式会社IHI汎用ボイラ 東京都中央区晴海三丁目12番1号 業務部 嘉悦 毅 TEL：03-6629-9325
-----	--

登録設備情報

導入可能な主な業種・分野	E. 製造業		
導入対象となる分野・プロセス	蒸気発生プロセス		
導入事例の省エネ量（原油換算：kl）	-11.2	kl/年	
工場・事業場当たりの想定省エネ率	—	%	
設備・システム当たりの想定省エネ率	-2.9	%	
導入事例における費用対効果（年間）	—	kl/千万円	
1台又は1式当たりの想定導入価格（参考）	22,000,000	円	
保守・メンテナンス等の年間ランニング費用	520,000	円/年	

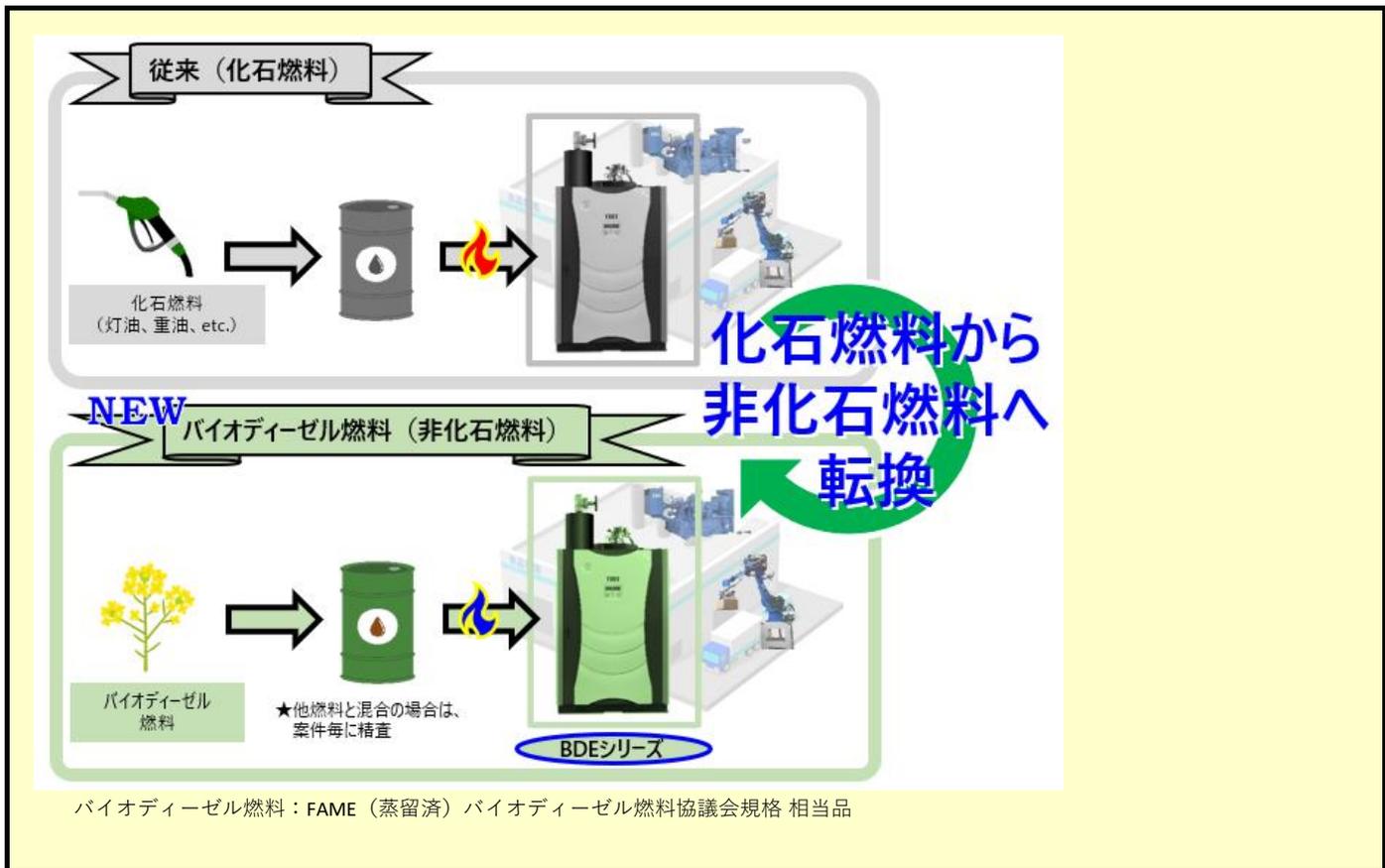
製品・システムの概要

<p>従来の油焚小型貫流ボイラでは規格燃料（灯油やA重油）を燃焼することが一般的ですが、独自のバーナを使用することにより、植物性の天ぷら油の廃食油（なたね油、ごま油など）を主体とする植物由来のバイオディーゼル燃料（エステル化合成燃料、以下略）の燃焼が可能となりました。</p> <p>特徴としましては、バイオディーゼル燃料の性状を加味し油圧噴霧式油バーナをベースとして考慮、特殊部品の組み込み等によりバイオディーゼルでの燃焼安定性の確保を行っております。</p> <p>本独自のバーナを採用することで、油焚小型貫流ボイラでのバイオディーゼル燃料適用を実現しました。</p>
--

先進性についての説明

<p>バイオディーゼル燃料は植物から精製されるため、化石燃料の代替燃料とすることで、化石燃料使用量の削減が可能となり、非化石エネルギーへの転換を促進し、非化石エネルギー利用割合の向上に大きく寄与することが可能となります。また、硫黄分の含有量が少ないため硫黄酸化物（SOx）がほとんど出ません。更に廃食油ベースのリサイクル由来の場合、地域循環型社会の構築に貢献できます。</p>
--

製品・システムの概要・イメージ図



導入事例の概要・イメージ図

業種・分野	食品製造業	対象設備・プロセス	蒸気ボイラ
<p>2024年に実施した燃焼試験を経て、2025年3月末に弊社HPにてプレスリリースを致しました。                      プレスリリースURL：<a href="https://www.ibk-ihl.co.jp/news/2024/250328.html">https://www.ibk-ihl.co.jp/news/2024/250328.html</a></p> <p>本製品の主要仕様については、以下となります。</p> <p><b>【製品情報】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・型式名 : K-2000BDE※（エコノマイザー搭載）</li> <li>・種類 : 多管式小型貫流ボイラ</li> <li>・法規区分 : 小型ボイラー</li> <li>・使用燃料 : バイオディーゼル※                          ※FAME（蒸留済）、バイオディーゼル燃料協議会規格 相当品</li> <li>・燃料消費量 : 142.5 L/h</li> <li>・換算蒸発量 : 【高燃焼時】 2,000 kg/h (1,254 kW)                          【中燃焼時】 1,300 kg/h ( 815 kW)                          【低燃焼時】 600 kg/h ( 376 kW)</li> <li>・最高使用圧力 : 0.98 MPaG</li> <li>・ボイラー効率 : 97 %</li> <li>・使用電源 : AC200/220V × 50/60Hz × 3φ</li> <li>・設備電源 : 8.2 kW</li> <li>・外形寸法 : 幅1.2 m × 奥行2.5 m × 高さ2.4 m</li> </ul>			